愛労連

愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町９－７
労働会館東館３Ｆ
ＴＥＬ052－871－5433
ＦＡＸ052－871－5618
ＵＲＬhttp://www.airoren.gr.jp
発行人　榑松佐一
第184号　2008年11月10日

2009国民春闘討論集会
■と　き　12月7日(日)
10:00～17:00
■ところ　労働会館本館2F会議室
※お弁当を準備しますので、各単産・地域労連を通じて参加申し込みをして下さい。

犠牲を押しつけるな

金融危機のツケを労働者や派遣、期間従業員、下請けに

朝のラッシュ時のように定時あがりの労働者であふれる刈谷駅（午後6時10分）

アメリカのサブプライムローンに端を発した金融危機は、リーマンブラザーズの破綻で一気に拡大し世界的な経済危機となっています。日本でも株価暴落や急激な円高だけでなく、実態経済にも深刻な影を落とし始めています。これまで「元気な愛知」と、日本の「好景気」を象徴してきた自動車産業を中心とする愛知でも、減産にともなう期間従業員や派遣の雇い止め、下請け企業の経営悪化が急速に広がっています。

トヨタ、期間従業員6000人首切り
残業カットで収入も大幅ダウン

トヨタ自動車は11月6日、09年3月期連結決算の業績予想で、本業のもうけを示す営業利益を当初予想の1兆6000億円から6000億円に下方修正しました。これに伴いピーク時には9000人いた期間従業員は、すでに10月末段階で6000人に減らされ、さらに来年3月末までに半減の約3000人とする方針を明らかにしています。

西三河南労連に加盟するＡＴＵ（全トヨタ労働組合）によれば、トヨタ自動車では、昨年夏には1日あたりの生産台数が約1万7000台あったのに、現在は約1万5000台。さらに1万3000台にまで落ち込めば、期間従業員だけでなく正規労働者のリストラも始まるのではないかと心配しています。すでに職場では残業が基本的に無く、収入が大幅ダウン。仕送りを確保するために土、日にアルバイトをしている期間従業員も少なくないと言います。

グループ企業でも本体の減産に伴う影響が広がっています。デンソーでは人件費や設備費が2～3割カットされ、残業は無し、文具の購入さえ厳しくされています。

豊田市やグループ企業の集中する刈谷市では、労働者がいっせいに帰宅するため、渋滞や駅の混雑など地域住民の生活にも影響が出ています。

「先が見えない」、下請け存続の危機
自公政権の悪政が追い討ち

トヨタの減産は、下請け孫請けの中小企業、零細業者に深刻な経営難をもたらしています。

トヨタ系グループ企業の2次下請けで、名古屋市内で自動車関連の部品加工業を営んできた田中正樹さん（仮名）。11年前に工場を引き継ぎ、現在は一人で工場を経営。受注する仕事のほぼ100％が1次下請けからのものです。

減産に伴って仕事は大幅に減少。6、7年前のピーク時に年間3000万円あった売り上げは、06年に1700万円台、07年には1300万円台に落ち込んでいます。今年の夏からはさらに激減し、月当たりの売り上げは8月が25万円、9月が26万円、10月が37万円で、「年間売り上げは70万円を切るんじゃないか」「トヨタは3割の減産でも、末端の下請では6割、7割減になってくる」と言います。

さらに原油や原材料高が重なり、いっそう経営を圧迫。経費の支払いもままならず、子どもの結婚のために貯めてきた預金、個人年金、生命保険の解約だけでは足らず、親や兄弟からも借金せざるを得ない状況に追い込まれています。

自公政権の悪政による打撃も深刻です。昨年は赤字決算で所得税もゼロだったのに、20万円を超える消費税負担がのしかかりました。家計の面では、今年から後期高齢者医療制度が始まり、無年金の母親の保険料負担も加わり家計を圧迫しています。「先が見えない。いつまで辛抱したらいいのか」と田中さんは訴えます。

工場の照明は消され、手元のライトのみで旋盤を回す

身勝手な労働者の使い捨て
ネットカフェ難民、ホームレスも増加

テレビや新聞など、マスコミで「派遣切り」の問題が報道されています。

トヨタ自動車本体では、派遣労働者は受け入れていませんが、大量の期間従業員を雇用しています。ＡＴＵによれば、労働基準法の改悪で3年までの有期雇用が解禁されて以降、トヨタは2年11ヶ月契約の期間従業員を採用してきました。来年2月には最初の就職組の契約満了が迫っており大量の雇い止めが予想されると言います。

こうした状態は、自動車産業全体に広がっており、契約満了を待たずに「派遣切り」したり、派遣先の所属長から直接解雇を通告されるなどの違法行為も広がっています。愛労連労働相談センターには、今年の夏から自動車関連に働く派遣労働者のからの相談が増加しています。

出稼ぎ派遣や外国人技能実習生は、派遣・実習の打ち切りと同時に住居を失うことになり、ネットカフェ難民やホームレスの増加に拍車をかけています。西三河のある市役所では、「派遣会社が市役所玄関前に荷

（2面に続く）

こうむ

11月、ようやく家庭菜園を耕し、キャベツ、白菜、青梗菜などの植え付けおこない、エンドウ、ほうれん草などの種をまいた。中旬以降にはタマネギを植え付ける準備も完了。11月では遅いと言われているが、ようやく時間がとれたのはこの時期。収穫が楽しみだ。食料品も値上がり、安心安全の食べ物は少しでも自分の手で安く食べようと汗を流した▼証券優遇税制の延長法案が自民・公明と民主党が競う中で一部の高額所得者に巨額の恩恵を与えようとしている。所得100億円超の大金持ち10人に対して減税183億円。その内容は、株式売却の利益や配当にかかる税率を半分に軽減するもの。金持ちはますます肥え太り、格差は広がるばかりだ▼麻生首相は夜な夜な高級店会食に。就任して28日で32回も出かけている。大金持ちに減税するのは麻生氏にとって当たり前のことなのだろう。記者の質問に対しても、「私は金がある」「ホテルは安い」と言っているようだ。庶民の感覚・生活実態とはまったくかけ離れて政治を行っているとしか思えず、本当に腹が立つ▼庶民は食べるものは自分でなんとか作ろうとしているのに、政府の行っていることは、金持ちを大事にすることを優先した政治にしか見えない。そう思うのは私だけだろうか。（基）

職場・地域で話しおってみよう！

麻生政権、解散先送り 国民の願いは政治の転換

麻生首相は、11月解散・総選挙を先延ばしにしました。

アメリカ発の金融不安が、世界同時不況をもたらしているこの時期に、総選挙より経済対策が優先する、と言っています。しかし、国民の信任をうけてない政権が、どのような経済対策を打ち出そうとも信頼されるはずがありません。

解散できない麻生政権と自民党

首相が解散しない本当の理由は、いま選挙をやっても勝てないからです。新政権発足のご祝儀支持率が、それほどでもなく、むしろその後下がっている。自民党が独自に実施した全選挙区世論調査でも、とても過半数はとれないとの結果に、解散したくともできないのです。いま完全に行き詰まって、身動きとれないのが麻生政権であり、自民党です。

バラまきの後には消費税増税

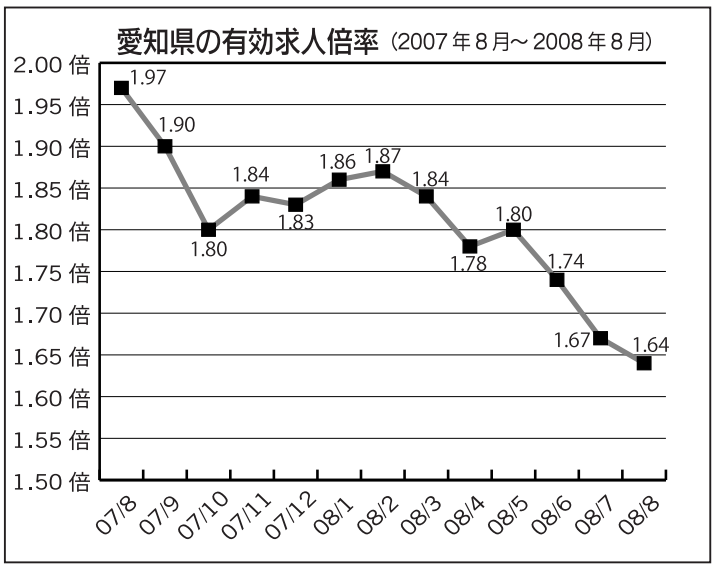
首相が打ち出した追加経済対策は、証券優遇税制の延長、銀行保有株の買い取り、公的資金の注入枠大幅拡大など、大資産家や銀行業界向け対策が中心です。国民向けには2兆円規模の「給付金」を目玉にしています。1回限りのたった2兆円で消費が上向くのか、税金を使った選挙対策の買収だとの批判があがるのも当然です。しかも3年後には消費税を引き上げると明言しました。消費税5%引き上げで年間13兆円の増税であり、あまりに国民を馬鹿にした内容です。

国民の支援する政治を

いま緊急にしなければならないのは、「貧困と格差」をなくすことです。年末闘争を職場・地域で大いに奮闘し、早ければ年明けにも予想される解散・総選挙で、今度こそ政治の転換を勝ちとりましょう。（古）

求人も激減 派遣契約切られれば就職先は無し

これまで、愛知県内の有効求人倍率は全国一を誇ってきました。しかしこの1年で徐々に低下し、07年8月から08年8月までの1年で0・33ポイントも低下しています。



昨年までは、どの求人情報誌を見てもトヨタの「期間従業員募集」という大きな広告がありましたが、今は見あたりません。

派遣も激減しており、駅頭で無料配布されている求人情報誌（タウンワーク・週刊）からも見てとれます。同誌の豊田・岡崎周辺版と刈谷・安城・西尾周辺版（11／4号）では、両誌あわせても派遣の募集は6社のみ。業種はサービス・事務・医療などで製造業はゼロ。以前なら100社以上の募集がありました。いま、派遣労働者は「派遣切り」にあうと派遣の仕事には戻れず、さらに低賃金なアルバイトやパートにしか就けない状態となっています。

また、派遣受け入れの激減に伴い、派遣会社そのものの倒産・廃業が広がることも危惧されています。

物と一緒に労働者を捨てていった」ということも報告されています。名古屋市でもホームレスのための自立支援センターが満員状態となっています。

大企業は雇用を守れ 雇用安定で内需を押し上げよう

今回の事態は、トヨタをはじめ日本の大企業が労働者の賃金や労働条件の改善など、内需拡大には目もくれず、輸出だのみの方針を強行してきたためです。トヨタは盛んに当初見通しに対して1兆円の減益を言いますが、それでも6000億円もの営業利益を見込んでおり、労働者の雇用を守る事は十分に可能です。

10月31日に労働総研が発表した試算によれば、派遣やパートなどの非正規労働者を正規化すると、少なくも8兆円の賃金が増え、GDPを4兆1千億円押し上げるとしています。雇用を増やし、賃金増を内需拡大につなげ、税収も増やすという好循環をつくるべきと指摘しています。

愛労連では11月下旬に、トヨタや自治体などに雇用守る要請や三河地域での宣伝など、緊急行動をとりくむ予定です。

発売開始

トヨタの足下で

ベトナム人研修生・奪われた人権

愛労連は、ベトナム人研修生・実習への賃金未払いや人権侵害問題などを支援してきました。企業と個別に交渉し、入国管理局などと解決を図ってきた過程など、これまでの支援のとりくみ、外国人技能研修・実習制度の問題点を愛労連の榑松佐一事務局長が本にまとめ発刊しました。購入は書店または愛労連事務局まで。

榑松佐一［著］
四六版・184ページ
風媒社
定価1,300円＋税

家族・知人等で困っている方にご紹介ください。
パート・臨時・派遣、どなたでも相談できます
無料！ 労働相談110番
祝祭日を除く月～金　9：30～16：30
愛労連労働相談センター
Tel.052（881）1411
E-mail 110@airoren.gr.jp
または 検索サイトで“愛労連”

安全衛生 ひとくちメモ

トヨタ・デンソー過労うつ病裁判で賠償命令

10月30日、名古屋地裁は、出向先のトヨタ自動車でうつ病になったデンソーに勤務するKさんの訴えに対し、業務とうつ病との因果関係を認め、トヨタとデンソーに損害賠償金の支払いを命ずる判決を下しました。

「両社は男性から相談を受け、うつ病になる可能性を把握できたのに配慮を怠った」とし、予見可能性があったのに安全配慮義務違反の過失があり、損害を賠償せよとしたのです。

長時間労働では、刈谷から豊田への通勤時間を考慮するとし、パワハラについては「うつ病の直接の原因とは言い難い」としながらも、「表現は過酷でパワハラと評価されても仕方ない」と背景事情としてあったことを認めています。

Kさんと家族、弁護団、支援者・団体のたたかいがトヨタに断を下しました。

名古屋支店でストライキ

たたかう仲間たち　NO.42

通信労組が再建10周年

さらなる発展を目指し、11月に記念レセプション

通信産業労働組合愛知支部　執行委員長　増田　誠

通信産業労働組合愛知支部は1998年12月にそれまでの約3年の空白から脱して、再建愛知支部大会を開催し、11名の仲間から出発しました。

その後、なかなか組合員が増えない時期もありましたが、2000年10月に電報の職場から8名がまとまって加入。また2002年には「NTTの構造改革」という大リストラの中で、西日本各地から、本人同意のない不当な広域配転が強行され、多くの仲間が転籍したり、新しく加入する中で、60名を越す支部となりました。

現在は、リストラ裁判のたたかいや、「地元に返せ」運動の中で、広域配転の組合員は当初より少なくなっています。特に名古屋地裁でのリストラ裁判闘争では、愛知県下の各労働組合や争議団、弁護団のご支援で「前進的和解」を勝ち取ることも出来ました。

しかし、全国のリストラ裁判の状況は、東京は最高裁でのたたかい、大阪は大阪高裁、静岡は東京高裁、松山は高松高裁のたたかいとまだまだ続いています。

NTTは今も毎年50歳になった社員に「雇用継続か、給料カットで子会社へ再雇用か」の会社選択を迫り、多くの社員が泣く泣く子会社へ移り、実質上50歳が定年となるリストラ合理化を辞めてはいません。

しかし、私たち愛知支部は、これまでの「リストラ反対、50歳退職・賃下げ再雇用を辞めよ」のたたかいの中で、『たたかってこそ道が開ける』ことを学びました。

この11月16日には再建10周年記念レセプションを計画しています。このとりくみを成功させて、これまでの10年を振り返るとともに、更なる発展を目指して奮闘していきたいと思っています。

今後とも一層のご支援をお願いいたします。

Topics

10/18

愛知国公が結成50周年を迎え記念レセプションを開催。今後も民間の仲間と手を携えてたたかおうと決意

10/24

自治労連がメンタルヘルス研修会を開催し107人が参加。組合だけでなく当局も参加して講演や実践報告で学ぶ

11/3

あいち九条の会がアピール行動。栄一帯で1500人が街頭宣伝やパフォーマンス、パレードなどを繰り広げた

11/4

名古屋・革新市政の会が世話人総会を開催。来年4月に行われる市長選挙に向け候補者擁立を含めた方針を決定

みんなのとりくみ お寄せください

単産・単組や地域でのとりくみを写真（デジタルでも可）と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月４日までに愛労連事務局必着。

詳しくは…
TEL 052-871-5433(竹内)まで
E-mail　post@airoren.gr.jp

秋年末闘争後半戦

雇用安定と賃上げこそ経済回復の道

公務員賃金、民間年末一時金で頑張ろう

なくせ貧困と格差、秋期年末闘争で生活改善をと開かれた10.31全県労働者決起集会には700人が参加

年金者組合が名古屋と豊橋で年金者一揆にとりくみ400人が参加。後期高齢者医療制度やめろ、最低保障年金つくれと行動（10/16）

公務職場にも非正規労働者が急増していますが、その多くが極めて低い賃金でボーナスも退職金もありません。ワーキングプアが社会問題となるなか、人事院は今年初めて「非常勤職員に対する給与指針」を発表しました。「指針」は国の非常勤職員に対するものですが、地方自治体の非常勤職員にとっても最低基準の根拠となるものです。

名古屋市人事委員会は今年、月額約２６００円の引き下げを報告しました。月２００時間労働で換算すると一時間13円の引き下げになります。これまでも名古屋市では「マイナス人勧」の度に時給の引き下げを行ってきました。今年も同様の意向を表明しています。名古屋市の時給単価引き下げは直接雇用する臨時・非常勤職員の賃金に影響するだけでなく、民間保育園や学童保育への補助金単価にも連動し、大きな影響があります。

全県一律地域手当の見直しに言及
愛知県人事委員会が報告

08秋期年末闘争は、9月以降、貧困と格差の解消や後期高齢者医療制度の廃止、年金問題などで集会や宣伝など攻勢的なたたかいを展開し、後半の地方公務員賃金や民間の年末一時金闘争を迎えています。

10月8日には、愛知県人事委員会の勧告・報告がだされました。愛知県は全県一律の地域手当を支給していますが、報告では「地域手当のありかたについて見直しが必要」と言及。06年度の報告では「全県一律」としましたが、この姿勢を大きく後退させました。

これが実施されると県立高校では学校ごとに教員や職員の給料が変わることになります。愛高教は「同じ愛知の教育に携わるものでありながら、勤務校によって賃金に格差がつくのは断じて容認できない」と全県一律支給を求めています。

民間企業では県内で異動のたびに賃金が変わるようなことはありません。教員のあるところで、賃金が上がったり下がったりすることは大きな矛盾を引き起こしかねません。

学校現場では文科省の調査でも長時間過密労働が恒常化しており、メンタルな病気も急増しています。愛高教は早急な是正のため時間短縮と「仕事に誇りを持てる賃金水準の維持」を要求しています。

国は改善の「指針」
名古屋市は非正規職員の待遇改善を

福祉予算を削るな！福祉を金儲けにするな！10･26愛知県民集会には1000人が参加。国や自治体に福祉施策の充実求めアピール

一方、愛知県の最低賃金は昨年の20円引き上げに続き、今年も17円の引き上げが行われました。民間との格差は広がるばかりです。国が「指針」で「待遇の改善」に取り組み始めたときに「官製ワーキングプア」を拡大することは許されません。今後、愛労連と医労連、建交労、福保労は名古屋市に対して「名古屋市と名古屋市に関連する非正規労働者の賃金引き上げ」を要請することにしています。

下がる、上がる　高木 徹

青年協ニュース AIAI NO.32

自治体労働者の役割学ぶ

自治労連青年部大会＆講演会に40名が参加

みんなで、はいポーズ

10月25日、労働会館にて自治労連愛知県本部青年部の定期大会を開催し、記念講演には30名が参加しました。

記念講演では元兵庫県南光町長の山田兼三さんを迎え「憲法を生かした民主的自治体づくりと自治体労働者の役割」のタイトルでお話をいただきました。

山田さんは、町長選挙を劇的勝利で飾った時に南光町が抱えていた同和行政問題など、多数の困難をどのように乗り越えてきたかを力説。住民参加の行政を心がけ、住民の力が街づくりやローカル線の存続につながったことなどを語りました。

講演の最後に「自治体には大きな力がある。名古屋は大きな自治体だから、大きなことがいくらでもできる。来春の名古屋市長選挙では奮闘を期待しています。」とエールを送りました。

青年部大会ではスライドを交えながらの活動報告、自治労連20周年記念沖縄集会へのとりくみなどの方針提案を執行部から行い、討論に移りました。

討論では「ボーリング、バーベキュー、スキーにとりくむ。岩倉市職からも参加があった」（犬山）、「平和ツアーや募金活動にとりくんだ。青年部の主催で委員長と総務部長の対談にとりくみ、注目を集めた」（豊橋）などの発言がありました。

すべての議案が賛成多数で承認され、役員選挙、大会宣言採択を経て、新部長の団結ガンバローで閉会しました。

（自治労連発）

秋の組織拡大月間

各組合で非正規労働者との対話
医労連、連続拡大で昨年実績突破

自治労連はこの秋５００人を目標に非正規労働者との対話を進めています。すでに豊川、小坂井、春日井、長久手、犬山で懇談会を実施し、正規21人、非正規44人が加入しました。同じ職種の職員との懇談で対話がすすみ、「働きかけさえすれば加入につながる」と教訓が報告されています。11月からは名古屋、豊橋、岩倉、半田、幸田の各組合が計画しています。

いきなり加入の話に入るのも単刀直入で良いのですが、生協労連では必ず「ケーキと飲み物」を準備して「昼休み対話」「イブニング対話」を行っています。愛高教では「愛高教ロゴ」の入った特製どら焼きを作成し、これを食べながら対話を広げました。「消費期限があるところがミソ」と高崎委員長は語ります。

医労連は7月の定期大会以後も毎月の連続拡大を追求してきました。10月末までに20組織で２１３名が加入し、昨年秋の実績を突破しました。12月末までに目標の５００名を絶対に達成しようと張り切っています。

愛労連の組織拡大決起集会（10／12）で報告をした東海病院では、その翌週に非常勤職員から「組合が頑張って時給を上げてくれてうれしかった」と２人の加入。名南会では毎月２人以上の加入を目標に７月から連続拡大を続けてきました。11月も非常勤職員が加入し一番乗りです。

長久手町職労が開いた懇談会

新役員紹介

■全港湾
執行委員長　田中洋行／副議長　桜井善行／同　藤村光治／同　福慶秀仁／同　藤村光治／事務局長　粟生政男／事務局次長　中根幹男／同　宮田稔／同　高木徹

■東海法労
執行委員長　村井秀樹／副執行委員長　長尾忠昭／同　本多豊子／同　伊藤宏明／書記長　堀切幸寛

■全港湾
執行委員長　田中洋行／副議長　宇佐美英世／同　森浩一／書記長　青山公平／書記次長　佐藤誠一

■全印総連
執行委員長　田中知通／副執行委員長　岸田実／書記長　高橋伸幸

■尾北労連
議長　田中和夫／副議長　穴沢仂／同　森川圭二／同　岡茂雄／事務局長　長谷川洋二

■港地区労
議長　幸島元彦／副議長　宇佐美英世／同　加藤善則／同　吉田智／同　飛弾義信／事務局長　脇坂宗勝

■愛知国公
議長　辻孝／副議長　市川浩／同　中田猛／同　山本雅詳／同　堀江重利／同　北野昭一／事務局長　丹羽佐俊／事務局次長　宇野進二／同　増田晴穂

■尾東労連
議長　加藤徹／副議長　渡辺一／同　堀勝／事務局長　甲斐雄彦／事務局次長　古賀正敏

■西三河ブロック

おじゃまします

NO.55　タクシー協議会

話題の中心は総選挙

名古屋市内を走るタクシー「つばめグループ」のドライバー伊勢田多智男さん。愛自交労組加入から13年が経ち、現在は分会委員長を務めます。

伊勢田 多智男 さん
愛知県自動車交通労働組合
ナショナル交通分会

解散・総選挙
働く者の一票で要求実現

「世の中に反映して、お客様が少なくなっています」と伊勢田さん。

小泉自・公政権時に次々行われた規制緩和、そしてガソリン代高騰と交運労働者はきびしい状況が続きます。

「毎月の生活は安定しません。経済の悪さに比例するんですよ」。解散総選挙が間近にせまるいま、分会の話題でも総選挙が中心。

「結局のところ政治がモノをいいます。積極的に投票へ向かい、ちゃんと選ぶことが大切。最終的には自分にふりかかってきますから」。

歴史ある組合の大きな力

現在まで長く働き続けている職場。それでも「組合がなかったら辞めていたかも知れません」と伊勢田さん。

若い頃に関心がなかったことも「組合に入って、いろんな分野を知ることで視野が広がった」と笑顔で語ります。

「こういう世の中だからこそ、しっかりした組織の中で働かないと。歴史ある組合の力は大きいです。何かあった時、相談も交渉もできます。組合がなければ会社のいいようにされますから」。

入れ替わりが多く、若い人が少ない職場にあって組合の必要性を強く感じる伊勢田さん。

「組合を維持するため、仲間を増やしていきたいです」と力強く語りました。（R）

散歩
初冬の奥嵯峨を心静かに

No.50　京都府京都市・奥嵯峨

2008年3月2日に愛宕念仏寺にて撮影

文・写真　市場丈規（あるきにすとの会代表）

紅葉も一段落し、京の町に静けさが戻る頃、お薦めなのが奥嵯峨野。観光客で賑わう嵐山から北に向かうと、冬枯れの畑の中に芭蕉の弟子向井去来の庵＝落柿舎が訪れる人もなくひっそり佇む。先へ歩を進めれば、清盛縁の白拍子祇王、祇女が世をはかなんで出家し、縁を偲んだという祇王寺。落ち葉に埋もれた庵が２人の儚げな様を想起させる。そして、無縁仏が立ち並ぶ化野念仏寺へと誘われる。愛宕神社の社寺町として開けた弁柄格子の街並みが続き、終点には茅葺きの民家が数軒あり、その先には愛宕念仏寺の五百羅漢。茅葺きの民家でお菓子とお茶を頂き、初冬の穏やかな半日を心静かに過ごしてみるのもいいもの。

■前々号クイズの答えとお詫び

当紙１８２号（９月号）で掲載したクイズの答えは「リンジコッカイ（臨時国会）」でした。本来ならば、前号（１８３号）に掲載するところ、掲載漏れがありお詫びします。正解者の中から抽選で10名の方に図書カードをお送りしました。

今後の主な日程

■第13回あいち機関誌・宣伝学校
11月29日(土)13:30～30日(日)
労働会館本館2F会議室

■第25回トヨタシンポジウム
11月30日(日) 10:00～
豊田市福祉センター

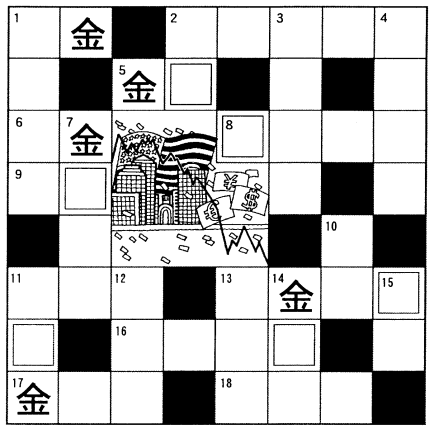
■愛労連青年協第19回定期総会
12月6日(土) 13:30～
労働会館本館2F会議室

■愛労連・春闘共闘09春闘討論集会
12月7日(日) 10:00～
労働会館本館2F会議室

■名古屋革新市政の会市民のつどい
12月19日(金) 18:30～
名古屋市公会堂大ホール

クロス・漢字ワードパズル

【解き方】「金」は「カネ」または「キン」と読んでください。二重ワクの6文字をうまくならべると言葉ができます。ヒントは中の絵。



■ヨコのカギ
①夕日で空が……色にそまる
②バニラ……の香り
⑤関西地方ともいう……地方
⑥……ずれば人を制す
⑧組合を英語でいうと
⑨地球の衛星
⑪この品物は、なんの……もないガラクタです
⑬金などの品質を計るのに使う石
⑯大、中小、零細
⑰健康のために……することにしたよ
⑱危険なところに近づかない人

■タテのカギ
①朝の……は「おはよう」
②算木（さんぎ）とぜい竹で占う
③仕事の……をはたす
④ジャズの一形態
⑦最近の様子
⑩オレオレ詐欺は……の息子や孫からの電話
⑪消えた……に怒る国民
⑫ニワトリの肉
⑬手に……をつける
⑭無い人にはあたらない宝くじ
⑮新聞……

※ハガキに答え、住所、氏名、組合名と近況や紙面に対する感想・意見を記入の上、12月5日までに愛労連（〒456-0006名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館3F）まで応募下さい。正解者の中から、抽選で図書カードを進呈します。なお、お寄せいただいたハガキの中から近況や感想・氏名・組合名を紙面で紹介させていただきます。

労働相談の窓

「派遣切り」、あきらめずに要求を

Aさん（男性・20代）は、08年7月から三菱自動車に派遣され、４ヶ月目に派遣先の作業長から09年3月末で辞めさせられることを告げられました。また、作業長からは「お前は派遣だ。用事があっても休むな」「作業ミスで壊した物は弁償してもらう」「俺の兄はヤクザで全身刺青だ」などと恫喝されました。

Aさんはこんな会社と思ったが納得がいかず相談に訪れました。派遣先とは雇用関係がないのに解雇通告は不当・違法であり、弁償や恫喝も不当な人権侵害です。Aさんは会社と作業長に白紙撤回と謝罪、償いを要求し争うこと告げました。すると作業長から「申し訳なかった。白紙に戻し、契約は更新する」と返事があり、現在は派遣元との確認をすすめています。

トヨタ関連でも派遣労働者の要求で更新打ち切りを撤回させており、あきらめずに要求したことで道が開けたことを実感する事例でした。

燃油高騰と金融危機、大企業の減産と「派遣切り」、中小企業の経営難を背景にした解雇も急増しており異常な年末を迎えようとしています。解散・総選挙も含め、労働相談の正念場です。（阿部）